



広報 なかわだ

2016年 3月

中和田カトリック教会
広報委員会

第431号

2016年 3月 6日

泉区中田北 1 丁目 9-1 Tel. (045) 803-6141

<http://nakawada-catholic.com>



カトリック思想の胎動

小野寺 功

最近もよりの書店に立ち寄って、偶然手にした若松英輔著「霊性の哲学」（角川選書）を読み、かつてない深い感銘を受けました。表紙の帯には、「今もとめられているのは霊性への気づきである」とありますが、これは現代の信仰問題の核心をついています。

若松氏は、カトリックの若手の新進批評家ですが、この本の扉には「井上洋治神父に捧ぐ」とあるように、そこには「日本人の心の琴線にふれるイエスの福音」を追求した井上神父の影響がうかがわれます。

私がこの本に注目するのは、「文学者と哲学者と聖者」という項目で「忘れられた思想家」吉光義彦に、強い照明が当てられているからです。吉光義彦は、かつて彼の師岩下壮一神父とともに、カトリシズムを日本の思想界にみとめさせる推進力となった人物です。

また吉満先生は、作家遠藤周作を文学の道に導いた恩師でもあります。その意味で私は、日本近代のカトリック思想史は、岩下壮一、吉満義彦、遠藤周作、井上洋治という系譜をたどっていると考えています。そして今後、こうした精神的系譜を明らかにすることが、若者をはじめ、心ある日本人がカトリックに関心を寄せる有力な手がかりになると信じています。

なぜなら、そこに新しい日本カトリック思想の胎動と、世紀の足音が感じられるからです。



日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
4	金	週日ミサ (9:30)	十字架の道行 4 (9:00)	日野神父様巡礼～9日迄
6	日	主日ミサ (9:00)	四旬節第4主日 作道神父様講話・ゆるしの秘跡	
11	金	週日ミサ (9:30)	十字架の道行 5 (9:00)	
13	日	主日ミサ (9:00)	四旬節第5主日	教会委員会
16	水			聖書の会 (10:00)
17	木	祝日ミサ (9:30)	日本信徒発見の聖母 [祝]	
18	金	週日ミサ (9:30)	十字架の道行 6 (9:00)	
19	土	祭日ミサ (9:30)	聖ヨゼフ [祭]	
20	日	主日ミサ (9:00)	受難の主日 (枝の主日)	信徒の会
24	木	祭日ミサ (19:00)	聖木曜日 (主の晩餐) 洗足式	
25	金	祭儀 (19:00)	聖金曜日 (主の受難)	
26	土	祭日ミサ (19:00)	聖土曜日 (復活徹夜祭) 洗礼式	
27	日	主日ミサ (10:00)	復活の主日 [祭] 初聖体	
30	水			聖書の会 (10:00)

～ 中和田の風 ～

「主の食卓を囲むために」

一人ひとりができること



現在典礼委員を担当しておられる小野雅彦さん（69歳）にお話を伺いました。

▲受洗のきっかけをお聞かせください。

⇒学生の時「キリスト教入門講座」のビラを受け取り軽い気持ちで講座を受けようと思ったのがきっかけです。講座を担当していたウィリアム・ジョンストン神父（イエズス会）は遠藤周作の「沈黙」を英訳した方であり神秘神学の学者としても有名な方です。講座の内容は、正直言ってよくわからなかったのですが、何となく居心地がよくて一年余り受講した後にジョンストン神父に勧められ受洗しました。

▲当教会では信徒の高齢化、信徒の減少など問題が山積ですが、今後教会を活性化するためにどのようなことが必要だとお考えですか？

⇒確かに信徒は高齢化しています。しかし高齢だとか忙しいとか、それだけの理由で何もしないとしたら実は居心地が悪いのではないのでしょうか？誰でも何か役割があった方が居心地が良くなると思います。パウロのコリントの教会への手紙にもあるように『あなたがたはキリストの体であり、また一人一人はその部分です』とあるように誰でも共同体の一員として何か役割があるはずで、典礼委員として言わせていただくな、ミサの中心である「主の食卓」を囲む会衆が能動的に参加することが求められています。

中和田教会は家庭的な雰囲気がある教会だと言われています。私の母が70代後半になって当教会で受洗できたのも共同体の皆さまに温かく受け入れて頂いたおかげだと感謝しています。この家庭的な雰囲気を共同体外の方に味わって頂くため、ミサに与ったらすぐに帰ってしまうのではなく初めて来られた方、久々に来られた方などに声掛けや話をするなどして交わりの場である共同体の一員として参画する意識も必要だと思います。また教会の前を通りかかる人たちが入りたいと思える教会にするためにも「聖書の勉強会」「入門講座」などはもちろんのこと、趣味のグループなどが毎日活動している地域に根差した開かれた教会になると良いですね。

▲キリストの教えで日頃大切にしていることはどんなことですか？

⇒キリストの原点を突き詰めて考えると、私の場合は「全てを受け入れる」ということに行き当たります。言い換えれば、聖書に書いてあるように「自分を捨ててキリストに従うものとなりなさい」つまり自我を捨てて神に委ねることだと思っています。物欲などは捨てられたとしても自我を捨てることなど、なかなかできるものではありませんが、お迎えがくるまで心で葛藤し続ける課題だと思っています。現役の時は教会から少し遠のいていたこともありましたが、妻が信仰を心の中心に持っていてくれたことが教会から離れずにいられたのではないかと妻に感謝しています。



行事担当

第Ⅰ地区大原、第Ⅱ地区小山（利）、第Ⅲ地区横塚の三人で今年度の行事を担当する事になりました。改めて昨年担当された井上さん、石井（洋）さん、武石さんの活動に感謝申し上げます。

毎年繰り返される行事の仕事は、とても幸せな仕事なのだと思います。主のご復活、ご生誕の喜び、長年共同体を支えてくださった方々の敬老の日、そしてこれからの中和田教会を担っていく成人の日の祝い、どれをとっても喜びと感謝を共にする幸せな時間です。この素晴らしい時間を中和田教会の一人でも多くの方々と共に過ごす事が出来るよう、私たちは努力して行きたいと思っています。

私たち三人の力不足を、どうぞ皆様のお祈りとお力で、この一年支えて下さいますようお願い申し上げます。

（横塚 郁子）

信徒の会の報告（講演会について）

2月6日（土）社会福祉法人「開く会」理事長・鈴木正明さんの講演会「共に働き・共に居る」を開催しました。鈴木さんは大学卒業後保育園に就職し『障がい児の命との出会い』を体験されて以来今日に至るまで一貫して障がいのある人たちの居場所作りを目指してこられました。1990年には「共働舎」を開設し、障がいのある人もない人も一緒に「パン」「花」「陶芸」を作り販売することを通して就労支援を展開してこられました。教会外も含め45名もの参加を頂き、講演後のサロンでも鈴木さんの周りに熱心なお話の輪が広がっていました。以下はアンケートの感想を抜粋します。

「共働舎の響きに惹かれるものを感じていました。そして今日お話を伺い納得したと同時に障がい者も健常者も自然体で受け入れておられる生き方が周りの人間を幸せにし、また生きる力を与えていると思いました。駅の近くやパチンコ店の前に大きな樽や鉢植えにお花が植わっていて確か共働舎とありました。枯れることを見たことはありません。以前、お皿を買ったこともありますし、パンも美味しいです。こうして泉区に住んでいるとどこかで「共働舎」の人々にお世話になっている、あたたかいものをもらっていると感じました。」

「鈴木さんの若い頃からの取り組み、様々な人との繋がりから新たな社会資源を作りだしていったパワーに圧倒されました。個を尊重しながら、地域で幸せに生活していくための仕組みを次々と生み出しておられ、すごいなと思いました。今日の講演をきっかけに、教会と地域がもっと連携できる取組みができるようになると良いのではないかと思います。」

「障がい者の方と同じ目線で共に働くという考え方は素晴らしいです。障がい者の方のお手伝いもこのようにしていけたらと思いました」「何かを教えるというのではなく、共に居るという形に感動しました。」「大変理解しやすい、家庭的なお話で気持ち良く聞かせて頂きました。」「出会いが生きがいになってゆく事を感じた。」「神様は全ての一人ひとりを愛されておられることが大変嬉しく、差別しているのは私たちであると気づかされました」その他中学生の方たちからも熱心な感想を頂きました。アンケートにお答え頂いた皆様には厚くお礼申し上げます。

講演の冒頭で中和田教会の創立者・故木村義男神父様（2015年12月帰天）が教会の土地を購入するに当たって鈴木さんのお父様がこの辺りの地主さんであったことから鈴木さんご自身にお父様をお願いするよう頼まれたというエピソードをお聞きして改めて不思議なご縁を感じました。ちなみに鈴木さんは木村神父様に洗礼を授けられたそうです。42年経った当教会は今年度から再建に向け始動しました。この節目に鈴木さんがキリストの愛に基づいて実践しておられる事業の一端をお聴きすることができたことに希望を感じました。（今井 暁子）

福島「渡部農園」さんからの手紙」

寒中、お見舞い申し上げます。いつもお米をご利用頂きまして、ありがとうございます。

大寒の頃となり、ようやく（?!）季節らしい寒さと、会津もいつもの冬景色となってまいりました。それに致しましても、雨の降り方にとどまらず、雪の降り方も極端ですね。大雪に見舞われた地域の方々は、大変ですね。

会津の雪はたいしたことなく済んでおりますが、通常雪の少ない福島県内の各地に重たい雪が降り、今年もビニールハウスの倒壊が起きました。やはり、やさしかった日本の四季は過去のものなのでしょうか・・・。

先日までは、会津の盆地の田んぼには雪がなく、白鳥達が落穂をついばんでおりましたが、一面の雪となり、どうしたんだろうかと気がかりです。気候の変動は、野の動物たちをも混乱におとしめてしまいますね。自然を人の手で壊すことなく生かし次の世代に手渡したいと願う年の初めでしたが、原発事故による自然破壊、さらに自然と共に暮らしてきた人々の日々を奪ってしまった出来事、また、会津の山々は自然エネルギー発電の為に木々が次々と切られ、丸裸になっています・・・。

胸がしめつけられる出来事が多々起こっておりますが、皆様に支えて頂き耕すことができている我が家の出来ることは、田んぼや畑まわりの命を傷つけることなく耕し、皆様においしく食べて頂ける様、精一杯耕す事と思いを新たにしております。お風邪など引かれませぬ様、ご自愛ください。（雪の会津より）

信徒の会よりお知らせ

信徒の会の愛称を「みんなの会」と改めました。名前の通り、信徒のみんな一人ひとりが主役の「みんなの会」となって、老若男女国籍を問わず交流の場となれますように。4月4日（月）カトリック三浦海岸教会を訪問することになりました。小林神父様には11時から「神のお告げ」のミサを挙げて頂けることとなりました。地下鉄立場駅9時頃を集合時間に致します。お時間がある方、春の一日をのんびりと電車の旅をいたしましょう！

お問い合わせは「みんなの会」担当今井まで

委員会だより

(文中敬称略)

△2月14日(日) 12名出席▽

■日野神父様のお話

・お忙しい中、ありがとうございます。
・今年は洗礼のことや私の金祝のことがありますが、よろしく願います。

■新委員御挨拶

●福祉(阿部)

・今までは楠田さんでしたが、今年から私がやりますので、どうぞよろしくお願い致します。

●総務(小山(恭))

・上野さんが体調を悪くなさっていますので、その期間よろしくお願い致します。

●行事(小山(利))

・行事は3人いますが、順繰りに出ますので、よろしくお願い致します。

●要理(大宮(ひ))

・要理の親の会の代表は裕さんですが、委員会には親の会のメンバーが順繰りに出ますので、よろしくお願い致します。

■各グループからの報告

●典礼(小野(雅))

・2月～3月の典礼暦の確認。
・2月10日の灰の水曜日は、滞りなく終わった。灰が黒かったという意見があった。
・来年の検討課題とする。

・十字架の道行は、2月12日の(金)から始まった。

・3月6日に、講話くゆるしの秘跡(作

道神父様)が行われる。

↓告解室備え付けの「悔い改めの祈り」の内容確認や照明スイッチの誤作動確認等の検討をする。

・聖週間のリハーサルは、「くゆるしの秘跡」の関係で2月28日に行う。

・洗足式は、男性2名、女性2名で行われる。

・3月27日の復活の主日に、「初聖体」は4名で行われる。

・2月11日に横浜教区典礼研修会が藤沢教会で行われた、総勢560名の参加があり、中和田教会からは10名参加だった。

・2月14日に横浜教区合同入信志願式が藤沢教会で行われる。中和田教会からは、マナリリ真紀子さんが志願者として参加する。

・日野神父様からの問いかけだった、教会に來られない高齢者、病者に対する日頃の対応については、特定の人だけでなく、信者全員でフォローすることにする。

●要理(大宮(ひ))

・今月の要理の予定は、今月は神父様のご都合により、2月21日(日)のミサ後に初聖体と要理学校のお勉強をする。

・3月の予定については、ご復活に向けての要理学校の「くゆるしの秘跡」は、3月20日のごミサの後にすることになった。

・初聖体は、神父様が認められましたので、2年生3人と1年生1人の計4人です。

●信徒の会(今井)

・2月6日(土)に鈴木正明さんの講演会が開かれた。大変好評で45名の参加者があった。今回はアンケートを取った、その結果は、広報3月号に掲載した。

「信徒の会」の愛称ネーミングを考えている。

・4月4日か11日に、電車で三浦海岸教会訪問の予定。

・神父様の金祝を記念して、チャリティコンサートを検討中。

●行事(小山(利))

・3月27日のご復活祭の準備について話し合った。卵については、見積もりを取ることにする。今年は、サロン形式で実施する。

●総務(小山(恭))

・3月のスケジュール確認。

・外の掲示板は、今後宣教部で担当をお願いしたい。↓了解された。

・神父様の巡礼中の当番表を貼りますので、委員の方のご協力お願いします。

・作道神父様の「くゆるしの秘跡」の後の昼食会を予定している。

・各委員の方、事務室の郵便物を確認してください。

●広報(武田)

・原稿依頼(2月24日(水)締切)

●建物を考える会・営繕(五十嵐)

・1月28日に電気メーターの取り替えをした。

・3月の大掃除はしない。

●福祉(阿部)

・カリタスジャパンへの献金をお願いします。

・ホームレス支援のために、わかめ、

野菜、お米を送った。

・教会に來られない高齢者の方20人に、広報やその他のお手紙を発送している。

●宣教(岩崎)

・今日から、第5地区湘南キリスト教セミナーの実行委員会が始まり、井上さんが今年の委員長を務める。他に一粒会、区民クリスマス、第5地区教会学校リーダー会も井上さんが担当する。

●財務(甲斐)

・1月の一般会計、建設会計、愛の献金会計報告がされた。

・愛の献金の中から施設献金として、1万円だけは早めに社会福祉協議会に寄付したい。

↓承認された。

●副委員長(岩崎)

・2月21日(日)に、第5地区共同宣教司牧委員会に出席する。

■その他報告事項

・月修配布資料が配布された。

■討議事項

・3月6日の黙想会・くゆるしの秘跡への対応は、委員長があたる。

・復活祭日中ミサは、開始時刻が10時で、お祝いはサロン形式です。

・信徒大会の結果のなかで、大宮さんの質問が保留になっていたが、これから甲斐さんからお話を聞く予定。

・建物再建への対応は、教区の反応を見ながら段階的に準備を進めていく。
以上

(次回委員会3月13日)